

仙田家住宅主屋



指定区分	国登録有形文化財(建造物)
読みかた	せんだけじゅうたくしゅおく
所在地	倉敷市藤戸町天城字町
登録年月日	平成30年5月10日
解説	安政7年(1860)建築との伝承のある、旧天城村の町屋にある小売業を営んだ商家。街路に北面した切妻造、本瓦葺、平入で、建築面積は121㎡である。内部は改変されているが、一階前面を開口部とし、二階を漆喰塗とする正面や海鼠壁(なまこかべ)などが伝統的な形式をよく残している。
	瀬戸中央自動車道水島ICから車で10分
公開状況	外観のみ
設備	
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国登録有形文化財(建造物)
ぶんかざいめい (文化財名)	仙田家住宅主屋
よみかた	せんだけじゅうたくしゅおく
しょざいち (所在地)	倉敷市藤戸町天城字町
とうろくしたひ (登録した日)	平成30年5月10日
せつめい	安政7年(1860)に建てられたと伝わる、小売業を営んだ商人の家です。道路に面した本瓦葺の建物で、建築面積は121㎡です。家の中は改められていますが、外は一階の前面を広く開口し、二階を漆喰塗(しっくい)で仕上げるなど、伝統的な形式をよく残しています。